



暮らし

猫の適正飼養について

「放し飼いの猫が庭に入ってきてフンや尿をして困る」、「野良猫に餌やりをしている人がいて野良猫が徘徊している」などの苦情や相談が町に多く寄せられています。

良かれと思ってしたことが、近隣に迷惑をかけるだけでなく、不幸な猫を増やすことにもなりますので、猫の適正飼養のご協力をお願いします。

▼飼い主の方へ

▽交通事故・病気・迷子・近隣へのフン尿被害を防ぐため、また、災害時に同行避難ができるように「室内」で飼いましょう。

▽飼い猫が迷子になったときのために、迷子札をつけましょう。

▽みだりに猫を増やさないために、不妊去勢手術を受けさせましょう。

▽飼い猫が逃げた場合は、福島県動物愛護センター、三春町役場、警察署に連絡しましょう。

▼野良猫をみつけたら

▽無責任に餌を与えないでください。猫のフン尿により近隣に迷惑をかけることになります。また、不要な繁殖により、かわいそうな猫が増えることになります。

▽野良猫に餌を与えている方は、その猫の管理者（飼育者）となります。

▽野良猫の餌になるようなものを屋外に放置したり、寝床になるような場所を与えたりしないようにしましょう。

問 住民課 生活環境グループ

☎ 0247-62-2147
福島県動物愛護センター
☎ 024-953-6400

蜜蜂を飼養している方へ

蜜蜂の飼育や蜂群の移動を行う場合は、許可申請や届出などの手続きが必要です。

また、蜜蜂を飼養している農場は、ふそ病の検査を受ける必要があります。

県では毎年ふそ病（幼虫の感染病）が発生していることから、蜜蜂を飼養している農場を対象に、毎年検査を実施しています。詳しくは産業課までお問い合わせください。

問 産業課 農林グループ

☎ 0247-62-2112

～ごみ箱に捨てる前に1度考えてみませんか？～

SDGs コラム Papperskorg (パペルスコルク) Vol.26



生ごみを減らすために、食品ロスの削減にご協力ください。

－ 日々の意識で、食品ロスを簡単に減らすことができます。－

食品ロスを減らす「3つのコツ」

1 買いすぎない

家にある食品と照らし合わせて、また、予定を考えて、必要な分だけ買いましょう。



2 作りすぎない

体調や家族の予定などを考えて、作りすぎないようにしましょう。



3 食べ残さない

作った料理は、早めに、おいしく食べきりましょう。



家庭で捨てられやすい食品

1位 主食(ごはん、パン、麺類)



2位 野菜



3位 おかず



捨ててしまう理由

1位 食べきれなかった 57%



2位 傷ませてしまった 23%



3位 賞味期限、消費期限が切れていた 11%

前月号で、町の可燃ごみの3割が生ごみであり、「未開封、未使用食品」と「食品残渣(食べ残し)」が多い状況をお伝えしました。

日本では国民一人当たり年間37kgの食品ロスが発生しており、毎日102g(おにぎり1個分)の食品が不要に廃棄されています。

食品ロスを減らすためには、飲食店などの事業者だけでなく、ご家庭でも取組むことが大切となります。

問 住民課 生活環境グループ ☎ 0247-62-2147

広告欄